

令和4年度 学校評価表

64 長野県飯田風越高等学校

学校教育目標	豊かな人間性と高い教養を持ち、他者と協働し、主体的に将来を切り拓く力と、地域・社会を牽引する資質を持った人物を育成する。
重点目標(中・長期的目標)	◇保護者・地域との連携を深め、信頼を得る学校づくりを行う。 ◇社会の形成者として必要な規範意識の涵養とマナーの向上及び協働意識の育成を図る。 ◇生徒一人ひとりの興味・関心、能力・特性に応じた適切な指導・支援を行うことにより、豊かな人間性を養い、社会を担う人材を育てる。
今年度の重点目標	◇国際カリキュラムを研究する実践校として、先進的先端的学びを創造し、新しい教育課程の編成と観点別評価を促進するとともに他校に向けて発信していく。 ◇豊かな知識・表現力、創造的な思考力、課題解決力、主体性を身に付けた生徒の育成を目指す。 ◇職員、生徒、保護者が相互に連絡連携を取り、いじめや体罰のない安心安全な学びの環境づくりに努める。

領域	対象	評価項目	評価の観点	
教育	教育課程	生徒・保護者および地域の期待・要望を勘案し、風越高校の特色を生かせる教育課程の検討を進め、提示していく。	次年度の講座・科目選択において、各学年と協力して、生徒の進路や興味・関心に応じたコース等の提示ができたか。 新教育課程表の見直しを行い、問題点があれば検討し、それを改善することができたか。	
		学力の向上を図るために学習習慣の確立に努める。また、総合的な探究の時間（Fの学び）の在り方について検討していく。	家庭学習の充実を図ることができたか。 生徒の進路・ニーズに合った学習指導はできたか。 国際的なカリキュラムを研究する実践校として、より良い「Fの学び」について検討、計画をすることができたか。	
	進路指導	進路希望に合わせた情報の提供と指導を行う。	生徒の意識の高揚を図りながら進路希望に沿った指導ができたか。	
		職員間の進路情報、指導法の共有を図る。	模試情報の迅速な共有とオンラインでの情報活用技術向上の取り組みができたか。	
		キャリア教育の課題を具現化した進路指導を行う。	「Fの学び」等を通して、進路意識を高揚させることができたか。	
	生徒指導	社会規範・交通規則・校則を守る意識を高め、いじめのない自律的な学校生活を送れるよう支援・指導を行う。	いじめ案件などにすぐに対応できたか。 規範意識が高められたか。特にSNSの危険性について理解が深まったか。	
		地域・家庭との連携をはかり、安心・安全な環境を維持する。	地域・家庭との信頼関係を深めることができたか。	
	教育活動	教育相談	教育相談態勢の充実を図る。	職員間で共通認識を持ち、適切な支援ができたか。 関係機関の活用、連携ができたか。
			自治活動としての支援をはかる。	委員会、クラブ、風越祭など充実して行えたか。
		生徒会	地域に根ざした活動を目指す。	ボランティア活動などを中心に、地域に出て活動させることができたか。
マナー、モラルの向上をはかる。			あいさつや身だしなみ、環境美化などの啓発を行えたか。	
健康の保持増進に努める取り組みをサポートできたか。			健康の保持増進に努める取り組みをサポートできたか。	
保健		自己の健康課題を把握し、健康の保持増進・感染症対策に主体的に取り組む力を育てる。	夏場の熱中症の予防等、季節に合わせた体調管理ができるよう、啓発活動を行うことができたか。 年間を通して感染症の予防に努め、校内での感染症の蔓延を最小限にとどめる取り組みができたか。	
		図書	図書館の利用促進をいっそう図るとともに、生徒の進路に合わせた資料の拡充を目指す。	図書館の情報発信・資料の拡充とともに、資料閲覧、調査、貸出が円滑に行えたか。
視聴覚		コロナウイルス禍の中で学びの継続を保证する方途を探る。	休校になった際等、on-lineによる学びの提供が行えるよう環境を整えていくことができたか。	
		人権平和	基本的人権を享有し、人間の尊厳を尊重して差別・偏見・いじめを容認しない意識の向上や環境を整える。平和や真理を希求する人格を育成し、人権尊重の実践を目指す。	平和人権学習や修学旅行体験を通じて、戦争と平和、差別や不当な人権侵害の事例について学び、人権感覚を養い、磨くことができたか。 いじめや命の尊さについて学び、人権意識の向上を図ることができたか。
学校運営			保護者・地域との連携	配信メールや広報誌、Webページで学校情報を積極的に発信できたか。 PTA活動や学校評議員会の意見を学校の教育活動に生かすことができたか。